

GSX、兼松エレクトロニクスの実施した

メール訓練+ITセキュリティeラーニング教育の導入事例を公開

グローバルセキュリティエキスパート株式会社（本社：東京都港区海岸1-15-1、代表取締役社長：久慈 正一、<http://www.gsx.co.jp>、以下、GSX）は、兼松エレクトロニクス株式会社（本社：東京都中央区京橋2-13-10、代表取締役社長 最高執行責任者：菊川 泰宏、<http://www.kel.co.jp>）が実施した、標的型メール訓練サービス及びITセキュリティeラーニングサービス「Mina Secure」（ミナ セキュア）の導入事例をリリースしました。

CASE STUDY 導入事例
兼松エレクトロニクス株式会社
標的型メール訓練サービス ITセキュリティeラーニングサービス Mina Secure

開封率ゼロを目指すことが目的ではなく低減させることも重要ですが、有事に直面した時の初動対応やホリラーに向けたプロトタイプへの対応を追求して考えることで新たな気づきを創るものと理解しました。

開封率に拘るのではなく、有事（今回は訓練でしたが...）を目的にしたりしたときの報告や振込に代表される初動対応やホリラーに向けたプロトタイプへの対応を追求して考えることで新たな気づきを創るものと理解しました。

兼松エレクトロニクス株式会社 専務取締役 作山 信好氏

兼松エレクトロニクスグループは、信頼と価値を創造する企業集団を目指し、メーカーにとらわれない幅広いIT製品の中から、常にお客様にとって最適なITソリューションをご提案してまいります。

今後、「お客様第一主義」「新しい価値の創造を念頭に、経営戦略としてグループ総合力の強化、および事業領域の拡充を掲げ、企業価値の向上に向けて当社グループ一丸となって邁進してまいります。また、当社の強みであるマルチベンダー機能を最大に活かして、個々のお客様の要望や変化の激しいIT業界の動向に対して、きめ細かい対応を実現してまいります。

事業内容は、IT（情報通信技術）を基盤に企業情報システムに関する設計・構築、運用サービスおよびシステムコンサルティングとシステム製品およびソフトウェアの販売、賃貸リース、保守および開発・製造、労働者派遣事業などを中心とする。

メール訓練とeラーニング教育の検討背景

まさ、検討のきっかけや背景をお聞かせください

きっかけとしては、兼松エレクトロニクスグループとして全社を挙げてセキュリティ意識の向上を意図し、実施しました。現状は従業員間の意識向上を可視化させることで、メール訓練による開封率や報告率を高め、併せてeラーニング教育を実施することで、リテラシーの定着と補完作用（標的型メールそのものの知識・知見の向上）を意図しました。

社内への体制はどのように検討されたかお聞かせください

兼松エレクトロニクスの情報システム室を中心に情報セキュリティ室、監査室及び日本オフィスシステムが企画 情報システム、内部統制室も一体での検討を進めました。

グループ内でメールシステムも異なるためメールセキュリティの観点からグループ全体のセキュリティ意識の向上を図るべく、専務の御指導のもと検討を進めてまいりました。

GSXによるメール訓練とeラーニング教育の実施

社内にもどのような課題がございましたか？

IT会社としてのリテラシーは他社と比べて平均以上である認識はありますが、貴社が掲げている標的型メールやフィッシングメールなどに関する知識や報告率など、日々の脅威に直面している状況は、他の固い企業と同様であると認識しています。

そんな中、仮にもう少し踏み込んだ「インシデント」といふものを目的にすると、体感し教育も併せて実施すること、ルール作りが存在している社内が実施にどのような動きをするかについては実施の余地がありました。

このような課題感を短期間に手前を省いて全社を巻き込んだ方法で実施できるのが

<http://www.gsx.co.jp>

メール訓練+eラーニング教育であると判断しました。我々が提供する（お客様に対する）セキュリティeラーニングを実施する上で必要不可欠な存在であるGSX社へ相談させていただき、今回の訓練実施に至っています。

メール訓練とeラーニング教育の効果・効用

実際の効果・効用をお聞かせください

メール訓練では、開封結果の組織別分布を把握することで、どのような急手当り的なセキュリティ意識の向上実施を行うかの指針を設けることができました。

あくまで数字に過ぎない開封率でしたが、その開封率が示す従業員特性（ネガティブな傾向）を補完する意味合いでのeラーニング教育は実に効果的でした。兼松グループ内では、そのほかのセキュリティ対策や、インシデントレスポンスのような考え方の定着と運用に関する知識/知見を充足する上で有用なコンテンツをご用意いたしました。

eラーニング教育では、セキュリティの3大要件として「機密性/完全性/可用性」の文字が揃ったような、初めは形式主義なコンテンツではなく、従業員一人ひとり他人人事業ではない自分ごととしてセキュリティとして理解できるようなストーリー性であったことも受講者に有用であったと考えています。

総じて、開封率に拘るのではなく、有事（今回は訓練でしたが...）を目的にしたりしたときの報告や振込に代表される初動対応やホリラーに向けたプロトタイプへの対応を追求して考えることで新たな気づきを創るものと理解しました。

今回の開封結果や同業他社との違いを現実のものとして受け止め、目的もあって兼松エレクトロニクスグループのセキュリティ意識の向上に向けたアクションを取るところです。

また改めて、開封率ゼロを目指すことが目的ではなく低減させることも重要ですが、有事に直面した時の初動対応やホリラーに向けたプロトタイプへの対応を追求して考えることで新たな気づきを創るものと理解しました。

弊社の他に他社サービスを検討されましたか？

GSXの他に2社検討しましたが、実績の多さや教育コンテンツの豊富さが決め手となりました。GSXのメール訓練がマーケットNo.1であるがゆえのサービス提供品質（各種教育コンテンツの提供により他社企業部門の負荷軽減を実現できました）や、同業他社のメール訓練サービスに比べ、自社のリテラシーが可視化できた点や他社の提案内容と明確に異なるポイントでした。

実績No.1であることで安心して訓練を実施できましたし、セキュリティ意識の向上目的が実地となり、訓練による状況把握も可視化、追加でリテラシーの補完としてeラーニング教育を通じて課題解決を意図しました。

今回のメール訓練とeラーニング教育を受けて、改善が欲しいリクエストはございますか？

継続的な訓練を実施し、従業員の態勢や事柄（例えば企業部門）の対応をモニタリングすると、実際の有事想定した訓練実施という意味合いでは、スホト実施ではなく、四半期毎の年間スケジュールで実施（年間の定期的な実施）といった定期的な実施や教育イベントを併せて実施でき、更に効果的な訓練や教育になると考えられます。

今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

導入プロセス

標的型メール訓練サービス

標的型メール訓練サービスを構築し、実施した。業務には影響の少ないメールをユーザー（社員/役員）に送信します。

訓練メールに含まれる、URLリンク先には偽りのファイルを開いたお客様には、教育コンテンツの充実とセキュリティ意識の向上を目的とした日本語のアクセスログがGSX訓練サービスに送信されます。事前に訓練結果を整理し、ログデータを共にご調査させていただきます。

ユーザーの開封結果をふるまう。1.開封率を「数」のイメージで把握し、全社的な課題意識の醸成を図る。2.この結果のフィードバックを行う。

CSXで提供する訓練であれば「インシデントが起きた時」のイメージが浮かび、実際の対応に備えることができる。この結果のフィードバックを行う。

セキュリティeラーニングサービス Mina Secure

インターネット環境下で様々な脅威が、どこでもどこでも発生可能な状況です。可能な限り平穏な事業を維持し、ユーザーの安全と安心を実現し、企業価値の向上に貢献してまいります。

ライセンスをご購入いただくクラウド型のサービスとしてご提供いたします。

標的型メール訓練サービスと組み合わせて実施することで、インシデント発生時の対応フローを従業員の皆さまがより身近に感じることが期待されています。

お問合せ グローバルセキュリティエキスパート株式会社
営業本部
〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズパレピアム4F
TEL : 03-3578-9001 FAX : 03-3578-9020
<http://www.gsx.co.jp>

◆導入事例の概要

兼松エレクトロニクスグループ様は、信頼と価値を創造する企業集団を目指し、メーカーにとらわれない幅広いIT製品の中から、常にお客様にとって最適なITソリューションをご提案しております。また兼松エレクトロニクス様の強みであるマルチベンダー機能を活かし、個々のお客様のご要望や変化の激しいIT業界の動向に対して、きめ細かい対応を実現しております。

この度、兼松エレクトロニクスグループとして全社を挙げたセキュリティ意識の向上から、メール訓練とともにeラーニング教育を実施し、セキュリティ教育・意識の向上を醸成することまでを意図しました。

兼松エレクトロニクス株式会社「メール訓練+ITセキュリティeラーニング教育」導入事例詳細：
http://www.gsx.co.jp/casestudy/kel_001.html

兼松エレクトロニクス株式会社、専務取締役である作山信好氏は本事例中身において次のように述べています。

「開封率ゼロを目指すことが目的ではなく低減させることも重要ですが、有事に直面した時の初動対応の大切さや足並み揃えた教育実施を身を以て体感できたことが最大の効果です。」

「開封率に拘るのではなく、有事（今回は訓練でしたが...）を目の当たりにしたときの報告や抜線に代表される初動対応やポリシーに則ったフローがどの程度実施できるのか？を追求して考えることで新たな気づきを悟れるものと理解しました。」

◆標的型メール訓練サービスとは

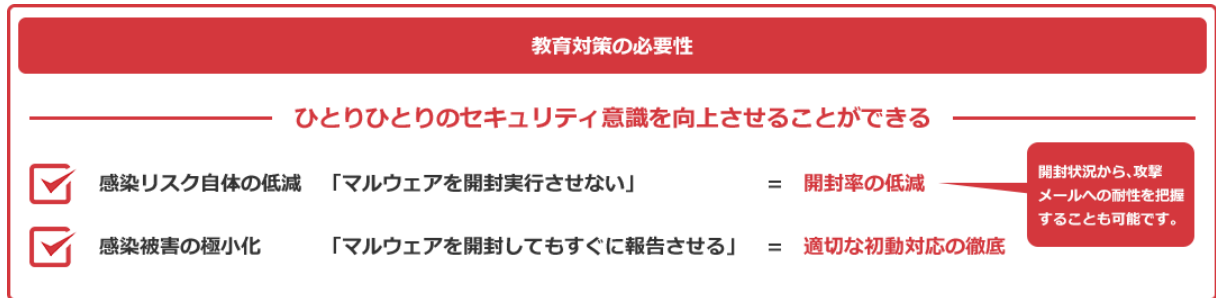
標的型攻撃メールを模擬・模倣した、実際には無害の訓練メールをユーザー（社員/職員）に送信します。訓練メールに含まれる、URLリンクあるいは添付ファイルを開封した対象者には、教育コンテンツが表示されると共に、開封した日時等のアクセスログがGSX訓練サーバ側に取得されます。最後に訓練結果を集計し、ログデータ一式と共にご報告します。

ユーザーの開封率結果のみならず、「標的型攻撃」のイメージと対処法を教育でき、全社的な課題感の醸成ができることが最大のメリットです。CSIRTを有する組織であれば「インシデントが起きた時」のイメージが掴め、実対応側に不備がないかどうかの確認/改善へ繋げることができます。

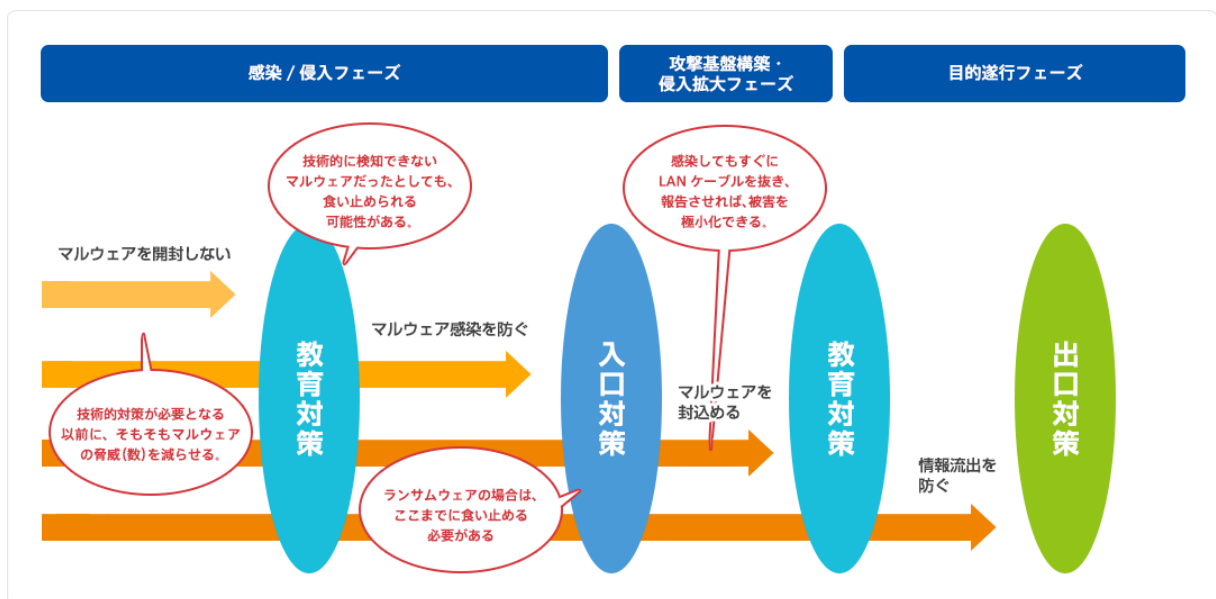


◆標的型メール攻撃における教育対策の重要性と多層防御の概念について

最終的に、端末を扱うのも情報資産を扱うのも、従業員であり、ひとりの人間です。「ひとりひとりが、その端末を、情報資産を、セキュリティ意識をもって扱えるかどうか。」技術的対策に依存しない、最後のセキュリティ対策が教育と言えます。



またサイバーキルチェーンにもとづく各フェーズでの対策による、多層防御が最も有効と言え、なかでも教育対策は肝要な対策と考えることができます。



標的型メール訓練サービスに関する詳細は以下ページよりご確認ください。

■【 標的型メール訓練サービス 】 サービス紹介ページ

<http://www.gsx.co.jp/informationsecurity/attackmailtraining.html>

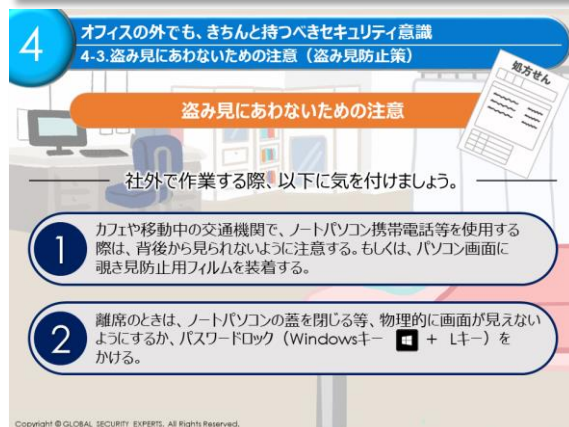
◆ITセキュリティeラーニングサービス「Mina Secure (ミナ セキュア)」とは

サービス名	ITセキュリティeラーニングサービス Mina Secure (ミナ セキュア)								
提供形態	クラウド型LMS (SCORM規格)								
対象ユーザ	従業員様はじめ、情報システム部門の管理者様								
提供価格	基本料金+下記レンジ単価となります								
	100名	300名	500名	700名	1,000名	2,000名	3,000名	4,000名	5,000名
	詳細は、弊社営業本部までお問い合わせください								
提供期間	2ヶ月								

- eラーニングによる教育サービス
どこでもどなたでもインターネットに接続ができれば、適切な教育が受けられる環境として、eラーニングによる教育サービスです。PCはもちろん、インターネットに接続できるスマートデバイスでも利用することができます。
- 一般ユーザー一人ひとりに向けた教育コンテンツ
システム部門向けではなく、一般ユーザー向けの日常業務のなかで留意をいただきたいセキュリティ対策を、分かりやすくご説明します。可能な限り平易な言葉を用いたうえで、一般ユーザーの方ご自身の日常業務に自然とセキュリティ意識が溶け込み、根付く様な説明・表現を念頭に作成しています。
- 管理者/システム部門様向け機能のご提供
教育コンテンツの受講状況が確認できるだけでなく、未受講者を検索してフォローができる等、コンテンツ受講を促進していただける様な機能をご提供します。（管理者専用サイトにより機能をご提供します）
- ご提供形態
ライセンスをご購入いただき、インターネットに接続さえできれば、一般ユーザー様・管理者様ともサービスを利用できる、クラウド型のサービスとしてご提供致します。2ヶ月の利用ライセンスを、必要なユーザーアカウント数に応じてご購入いただく形式となります。

◆教育コンテンツ・理解度チェックテストイメージについて

下図コンテンツは「オフィスの外でも、きちんと持つべきセキュリティ意識」と題したもので、ありがちな例を元に留意すべきセキュリティ盲点あるあるをご紹介します。教育を受ける従業員による「飽きたり、疲れたり、ウンザリしたり・・・」が少しでも軽減できるよう、柔らかいビジュアル構成となっています。情報セキュリティという重々しいテーマを少しでも軽く受け止めて貰うためのポイントを随所に散りばめています。



教育コンテンツでの学習後に、まとめとして理解度チェックテストを実施し、合格すると当該章立ての学習が終了となります。

Mina Secure に関する詳細は以下ページよりご確認ください。

- 【 ITセキュリティ e ラーニングサービス | Mina Secure 】 サービス紹介ページ
<http://www.gsx.co.jp/informationsecurity/minasecure.html>

◆グローバルセキュリティエキスパート株式会社について

社名 : グローバルセキュリティエキスパート株式会社
本社 : 〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1 スズエベイディウムビル4F
代表者 : 代表取締役社長 久慈 正一
資本金 : 1億円
設立 : 2000年4月
コーポレートサイトURL : <http://www.gsx.co.jp/>

事業内容 : 国内初の情報セキュリティ専門コンサルティング会社として2000年に設立され、脆弱性診断、コンサルティング、サイバーセキュリティサービス、教育事業にいたる広範な情報セキュリティサービスを提供しています。

情報セキュリティポリシーの国際標準基準となった英国規格協会 (BSI) のBS7799 (現ISO27000) を日本に初めて紹介し、高品質な情報セキュリティコンサルテーションを行っています。

さらに、高い技術を有し、システムの脆弱性の検出のためにプラットフォーム診断やWebアプリケーション診断、スマホアプリセキュリティ診断などさまざまな脆弱性診断を行う【タイガーチームサービス (TIGER TEAM SERVICE) 本部】、標的型メール訓練サービスやマルウェア感染調査をはじめとする新しい脅威に対抗するサービス/ソリューションをご提案する【サイバーセキュリティサービス本部】、企業様のセキュリティポリシーの策定・リスクアセスメント・システム監査または、ISMSやPマーク取得支援、PCI DSS準拠認定支援、CSIRT構築運用支援サービスなどを行っている【コンサルティング本部】、情報セキュリティ人材育成 (EC-Council) 事業として認定トレーニング及び認定資格試験として、認定ネットワークディフェンダー (Certified Network Defender) 、認定ホワイトハッカー (Certified Ethical Hacker) などの講座をご提供する【エデュケーション本部】を組織しています。また【R&D本部準備室】には

GSXサイバーセキュリティ研究所 (GSX Cyber Security Research Institute) を擁し、セキュリティ製品評価やサイバー攻撃に関する情報収集及び分析、セキュリティインシデント対応要員の育成を進めており、問題指摘のみならず、インシデントに対する解決策までをワンストップで提供できる体制を整えています。

※本文中に記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

【本リリース内容に関するお問い合わせ先】

グローバルセキュリティエキスパート株式会社 営業本部 マーケティング室
TEL : 03-3578-9001 (代) E-mail : mktg@gsx.co.jp